

M President's Message

社長メッセージ

2 2011 Sony Bank Interim Disclosure

社長メッセージ

当社の概要

主な商品・サービス

営業の概況

財務セクション

企業情報



2011年度は3月の東日本大震災後の不透明感が強い中でスタートしました。福島第一原子力発電所の事故もあり、被災地の復旧は思うようには進んでいません。震災で亡くなられたかたがたのご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

その後、秋にはタイが洪水被害に遭われ、世界各地でも異常気象に見舞われました。そのような中、ギリシャの財政赤字が発端となった欧州の債務問題は世界中に広がりを見せることとなりました。欧州の経済危機は、リーマンショックでは下支えとなった国家の信用が揺らいだという点で国際金融の世界に新たなレベルの危機をもたらしたといえます。

2011年度上期の業績(連結)

2011年度にソニー銀行は開業10周年を迎えました。その2011年度上期(2011年4月～9月)の経常収益は159億円、経常利益は21億円という結果となりました。前年同期比で見ると増収増益という結果です。着実な融資残高の積み上げと利ざやの改善によって業務粗利益も増加しており、業績は順調と判断しています。東日本大震災、欧州の経済危機が業績に与える影響について申し上げますと、東日本大震災の影響は軽微でしたし、欧州5カ国(ギリシャ・アイルランド・イタリア・ポルトガル・スペイン)向けのエクスポージャーも少額に留まっています。

お客さまのさらなるニーズにお応えする取り組みに注力

商品・サービスでは、住宅ローン商品のラインアップに2011年8月から変動セレクトを加えました。借り入れ当初の手数料は高くとも、より低い変動金利を利用したいというお客さまのニーズに応えるものとして、徐々に広がっています。

一方、外貨預金では、同年5月から相対的に金利の高いブラジルレアル預金を一般の個人向けとしては邦銀として初めて導入しました。8月には、シドニー駐在員事務所を設置しました。当社の外貨預金残高の約1/3を占めるオセアニア通貨のより有利な運用を目指して、オーストラリア市場の調査を行うものです。なお、MONEYKitグローバルは2012年1月をもってサービスを終了させていただきました。提携先の意向もありサービスの継続が困難な状況となったためです。

また、2011年5月には新たにクレジットカード事業(ソニーカード)を開始しました。株式会社ソニーファイナンスインターナショナルからカード事業を譲り受けたものです。さらに、クレジットカードの決済関連業務を運営する株式会社スマートリンクネットワークを7月に子会社化しました。これによってカード事業を一段と拡充できるよう計画しています。

これからも着実な運用をベースに、新たな商品・サービスを導入してお客さまのニーズに応える体制を整備していきます。今後ともよろしく願いいたします。

ソニー銀行株式会社
代表取締役社長

石井 茂